

令和 6 年 度

第2回千葉市立博物館協議会

日時 令和7年3月7日（金）

13：30～15：30

場所 千葉市立郷土博物館 講座室

次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

（1）令和7年度の予算と事業予定について

（2）その他

4 閉 会

3 議題

(1) 令和7年度の予算と事業予定について

→次ページから

(2) その他

- 博物館の新規登録について

議題1 令和7年度予算と事業予定について

加曽利貝塚博物館

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	加曽利貝塚博物館施設の管理業務委託を実施。 ①警備委託 ②清掃委託 ③草刈業務委託 ④設備関係保守委託他
	イ 設備改修事業	通 年	設備の改修を実施。 ① 臨時駐車場フェンス撤去修繕他
	当初予算額 31,556千円 (35,792千円) ※ () はR6 予算額以下同じ		
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通 年	寄贈・寄託資料の受け入れを行う。 考古学に関する専門図書の購入。
	イ 資料の整理保管	通 年	収蔵資料の再整理作業、デジタル化を行う。 また、他の博物館等の求めに応じて、資料や写真の貸出を行う。
	当初予算額 87千円 (87千円)		
(3) 調査研究事業	ア 縄文文化調査研究	通 年	収蔵資料や展示、教育普及に関する調査研究を行う。
	イ 『博物館紀要』の発行	通 年	『博物館紀要』第52号の発行 ※デジタルデータとして公開予定
	当初予算額 440千円 (123千円)		
(4) 展示事業	ア 常設展	通 年	「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚をみる」 常設展示①「貝塚を知る」 常設展示②「発掘された加曽利貝塚」 常設展示③「加曽利貝塚の歴史」
	イ 企画展	(3/18)～6/29 4/1～7/27 7/23～9/15 10/15～3/1 10/21～11/30 12/16～3/1 3/17～(6/28)	特別史跡加曽利貝塚令和6年度発掘速報展 春のパネル展（矢作貝塚他古写真などを予定） 夏の企画展（博物館連携展示）※市原市 仮称「加曽利B式展・千葉市編」 秋のパネル展 県内縄文遺跡展※印西市西根遺跡 特別史跡加曽利貝塚令和7年度発掘速報展
	当初予算額 726千円 (726千円)		
(5) 教育普及	ア 縄文ひろば	毎月第2・第4日曜日	史跡内見学案内、火おこし体験、アングレン編み、貝のアクセサリーづくり、紙芝居などを実施。※学校見学集中期間・夏休み中・年末年始は開催しない予定。 計16回実施予定

イ	縄文春まつり	5月3～5日	縄文時代のくらしなどについての体験や学びなどを通して市民に楽しんでもらう集客イベント。
	縄文秋まつり	10月25・26日	土偶ペーパークラフト・組ひもづくりなどの体験学習をはじめ、学芸員による解説、物販などを行う。
ウ	自然観察ワークショップ	5月24日 2月7日	加曽利貝塚周辺に生息している動植物の特徴や生態などについて学ぶワークショップ。 対象：小3以上 定員：各回30人 事前募集
エ	夏休み縄文ウィーク	8月13～16日	縄文時代のくらしなどについての体験や学びなどを通して親子で楽しんでもらえるイベント。 土偶ペーパークラフト・組ひもづくりなどの体験学習ほかの夏休みを家族で縄文を学べる内容を予定。
オ	博物館連携講座	8月30日	博物館連携事業である夏の企画展にあわせた内容の一般向けの講座。 対象：一般 定員：200人 当日先着 会場：生涯学習センター 2階ホール
カ	考古学講座	11月23日	考古学の新たな研究法を模索するため、考古学の研究者を招き、博物館学芸員と共に講義を行う。 研究者・上級者向けの講座。 対象：一般 定員：200人 当日先着 会場：生涯学習センター 2階ホール
キ	縄文時代研究講座	12月13日 12月20日 1月17日 1月24日 2月21日 2月28日	縄文時代をテーマにした一般向けの計6回の講義。 中級者向けの講座。 対象：一般 定員：各回40人 事前募集 会場：生涯学習センター 地下小ホール
ク	考古学基礎講座	3月21日	考古学を知りたい方に向けた基礎的な講義を行う。 初心者から中級者向けの講座。 対象：一般 定員：40人 事前募集 会場：生涯学習センター 地下小ホール
ケ	加曽利ウォーク	11月15日	市内の文化財や遺跡を徒歩で巡る。 ※若葉区千城台周辺にて実施予定 対象：小5以上 ※小学生は保護者同伴 定員：15人 事前募集
コ	職業講話への派遣 及び職場体験の受入れ	通 年	市内外の中学校等からの要望を受け、職業講話への講師派遣や職場体験の機会を提供する。
サ	講師派遣	通 年	一般団体・組織・施設などからの要請に応じて学芸員を講師として派遣する。
シ	体験プログラム	日・祝及び 最終週の土	来館者向けに子どもから大人まで楽しめる体験（R6年度：発掘体験・縄文ゲーム塾）を実施。（委託事業）

	ス 博物館実習の 受入れ	7 月 24 日～ 8 月 1 日	学芸員資格取得課程履修学生の館務実習の受入れ。 資料の整理、資料の取り扱い方、展示資料の作成や 展示作業などを行う。
	セ 博物館ボランティア の育成・活用	通 年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物 館活動の充実を図る。 募集：4 月 基礎研修：6 月 10・17・24 日（全 6 回※3 日間） 専門研修：5 月 21 日～25 日（全 5 回）
	当初予算額 1 9, 1 7 3 千円（1 9, 7 2 8）千円		
(6) そ の 他	ア 日本博物館協会	11 月中旬	全国博物館長会議（7 月初旬）
	イ 千葉県博物館協会	5 月下旬	総会・各種委員会（広報委員会）
	ウ 縄文サミット	8 月下旬	福島県福島市（予定）
	当初予算額 1 7 3 千円（1 8 5 千円）		
合計 予算額 5 2, 1 5 5 千円（5 6, 6 4 1）千円			

加曽利貝塚新博物館の整備（文化財課）

	事業内容	実施期間	説 明
(1) 新博物館整備運営事業	ア 新博物館整備運営	6月入札 12月事業者選定 3月契約	DBO 事業にかかる入札公告を行うため、債務負担行為を設定する。 事業期間：設計建設、開館準備 令和8～12年度 維持管理運営 令和12～22年度 敷地面積：18,967 m ² 延床面積：4,000 m ² （想定） 事業費：12,200,000千円
	イ アドバイザリー業務	通 年	DBO 方式で整備運営する事業者を選定するために要する以下の手続きについて、本市を支援する。 1)事業費の再算定 2)特定事業の選定 3)事業者の募集、評価、契約締結
	ウ 土壌汚染調査（詳細）	通 年	土壌汚染概況調査により、小倉浄化センター跡地内でフッ素等の規定値超過が認められたことから、建物解体前に詳細調査を行う。
	エ 駐車場用地樹木伐採	上半期	令和5年度に実施した埋蔵文化財確認調査の結果、全面的な発掘が必要になったため、支障となる樹木を伐採撤去する（玄藤遺跡）。
	オ 埋蔵文化財発掘調査	下半期	令和5年度より仕掛中で中断している埋蔵文化財本調査を再開する（柳沢遺跡）。
	当初予算額 86,200千円 (11,500千円) ※債務負担行為額12,200,000千円		

(2) 周 遊 路 整 備 事 業	ア 用地補償	通 年	令和 5 年度に実施した予備設計成果を基に、土地の権原を確保するため用地補償（用地測量及び不動産鑑定）に着手する。 対象地：若葉区小倉町、桜木 8 丁目内土地 4 筆 面 積：約 2,600 m² 方 式：買収または借上げ
	当初予算額	2,500 千円	(0 千円)
	合計 予算額	88,700 千円	(11,500 千円) ※債務負担行為額 12,200,000 千円

郷土博物館

	事業内容	実施期間	説 明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係 保守委託他
	イ 展示リニューアル 改修	上 半 期	展示リニューアル業務委託 改修期間：令和6年9月30日 ～令和7年10月末（予定） ※改修期間中は休館
	ウ 館内の設備工事	上 半 期	・照明設備更新（LED 化） ・公衆無線 LAN 整備工事
	エ 展示リニューアル に伴う付帯事業	上 半 期	・リニューアルオープン記念式典（11 月） ・館の案内パンフレットの新規作成 ・機械警備機器の再設定
	当初予算額 227,924 千円（184,503 千円） ※（ ）は R6 予算額以下同じ		
(2) 資料収集 保管事業	ア 資料の収集	通 年	寄贈・寄託等により、展示・研究等に必要な資料の収集を行う。
	イ 資料補修・模型 資料製作	通 年	展示リニューアルで展示する「デジタルともしび」の製作を行う。
	ウ 資料の整理保管	通 年	収蔵資料の再整理作業を行う。カードの再確認、資料のデジタル化を行う。 また、他の博物館等の求めに応じて、資料や写真の貸出を行う。
	エ 新規収蔵資料燻蒸	2 月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行う。
	オ 収蔵庫・展示室 等環境調査	7 月、11 月	博物館内の有害虫の有無、浮遊菌類の採取、空気汚染 温湿度、照度などの測定を行い、資料保全上特に問題となる要素を把握する。※展示室は可能な範囲のみ。
	当初予算額 5,028 千円（7,514 千円）		
(3) 調査研究	ア 館内調査研究	通 年	収蔵資料や展示、教育普及に関する調査研究を行う。
	イ 千葉市民俗資料 調査	通 年	高度経済成長期以前の千葉市における生活の様子を聞き取り調査や民俗資料を収集することによって記録・保存する。

	ウ 千葉氏関係資料調査	通 年	各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査し、『千葉氏史料集』の編集・刊行を行う。 B5 判 800 ページ 1,500 部
	エ 『研究紀要』の発行	3 月	『研究紀要』第32号の発行 800部
	当初予算額 7, 168千円 (3, 425千円)		
(4) 展 示 事 業	ア 常設展 (11月にリニューアルオープン予定)	11月～	千葉市の歴史がわかる通史展示 コンセプト:「郷土千葉のあゆみ、そのダイナミズム(躍動感ある変遷)がわかる」博物館への再生 展示テーマ:陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」 1階 みかた発見ラウンジ、企画展示室・講座室 5階 ちば一望ラウンジ(歴史年表など) 4階 原始・古代(千葉氏プロローグ) 3階 中世(千葉氏と千葉のまち) 2階 近世(陸と海の結節点)・近現代(千葉市誕生) ※動線順
	イ 特別展	1月～3月	千葉開府 900 年記念プレ特別展「千葉氏の城と都市」(仮称) 千葉県及び近隣に千葉氏が築いた城郭をテーマに出土遺物をはじめとする様々な資料を通して千葉氏が各地に残した影響を明らかにする。
	当初予算額 2, 891千円 (575千円)		
(5) 教 育 普 及 事 業	ア 体験学習 (11月以降)	下 半 期	中世の鎧や直垂、桂、小袖、近世の袴(いずれも複製)などを着用し、衣装の歴史と当時の生活について学ぶ ※現在、鎧の試着体験として実施
	イ 出前授業、館内学習	通 年	エドューケーターの指導により、出前授業や館内学習を行う。
	ウ 火縄銃演武	8月17日	火縄銃の実射(空砲)を行う。銃の現物資料や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で見学し、歴史理解を深める。 ※休館中のため実施方法を検討中
	エ 歴史講座	1月～2月	千葉経済大学と共催で、特別展と関連した内容をわかりやすく解説する講座を実施
	オ 千葉氏関係講座	6月14日、 12月	千葉氏の歴史に関する市民向けの講座を実施する。 12月は千葉大学との共同開催。

	カ まんが「千葉常胤公ものがたり」の増刷	6 月	まんが「千葉常胤公ものがたり」を印刷し、市内の学校へ配布する。(市内全小学校 6 年生向け)
	キ 職場体験の受入れ (11 月以降)	下 半 期	市内の中学校からの要望に対応し、職場体験の機会を提供する。
	ク 博物館ボランティアの育成・活用	通 年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。
	当初予算額 3, 4 7 2 千円 (3, 5 6 6 千円)		
(6) 市史編さん事業	ア 市史編さん資料調査	通 年	千葉市域に関する歴史資料の調査を行う。 ①千葉市域関係史料 ②『史料編 近現代』関係資料
	イ 史料編の編集	通 年	『千葉市史 史料編 近現代』第 3 巻目(戦後～)の編集作業を行う。
	ウ 千葉市史研究講座	1 月 31 日 2 月 7 日	「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説する。 対 象：市民(定員未定)
	エ 初級古文書講座	下 半 期 年 6 回	古文書の解説を通じて、江戸時代の郷土を理解する。 対 象：市民(定員午前・午後とも未定) テーマ：江戸時代の村の史料を読む
	オ 中級古文書講座	下 半 期 年 6 回	初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む 全 6 回
	カ ニュースレターの発行	9 月、3 月 年 2 回	ニュースレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため発行。現在の事業内容、講座案内、資料紹介などを掲載する。
	キ 『千葉いまむかし』の発行	3 月	『千葉いまむかし』39 号の発行 千葉市域や関連地域に関する論文、史料の紹介、市史編さん事業の記録などを掲載する。
		当初予算額 3, 6 8 8 千円 (3, 8 3 7 千円)	
(7) 協議会その他	ア 千葉市立博物館協議会	8 月、3 月頃	2 回開催予定
	イ 千葉県博物館協会	5 月	総会(千葉県立中央博物館)
	ウ 関東博物館協会	日程未定	総会(会場未定)
	エ 日本博物館協会	日程未定	全国博物館長会議(会場未定)
		日程未定	全国博物館大会
	オ 全国歴史民俗系博物館協議会	日程未定	年次集会
	当初予算額 1 5 4 千円 (1 3 8 千円)		
合計 予算額 2 5 0, 3 2 5 千円 (2 0 3, 5 5 8 千円)			

博物館の新規登録について

文化財課

1 概 要

市教育委員会では、博物館法第14条第1項の規定により、新たに千葉市動物公園を博物館登録原簿に登録した。市の施設としては加曽利貝塚博物館、郷土博物館に続き3例目、動物園施設としては全国で3例目、関東東北エリアでは初の登録である。

2 登録施設

- (1) 施設名称 千葉市動物公園
- (2) 所在地 千葉市若葉区源町280番地
- (3) 設置者 千 葉 市

3 登録年月日

令和6年11月29日

4 登録申請の経緯

- ・千葉市動物公園は、近年、研究・教育機能の充実を図ってきたが、依然として集客観光施設の印象が強い。社会教育施設としての認知度向上を目指し、博物館の登録申請を行った。
- ・改正博物館法の施行により、博物館登録による動物園の法的優遇措置が追加され、希少野生生物種の個体の譲り渡し等の手続きが軽減されるなど、同園の重点取組の一つである種の保存や絶滅危惧種の保護への世界レベルでの貢献を目指す上でのメリットも高まった。

5 博物館の機能から見た特徴

(1) 収集・保存

「未来へ紡ぐゴリラプロジェクト」をはじめ、動物福祉や種の保存、絶滅危惧種の保護など動物園が果たすべき社会的役割への貢献に積極的に取り組んでいる。

(2) 展 示

動物の生態や行動などの特徴をわかりやすく見せる「特徴展示」など、来場者が動物本来の姿に触れることができる展示の工夫が進められている。

(3) 調査研究及び教育普及

「アカデミア・アニマリウム（動物をめぐる学術の場）」活動の推進により、様々な学校、研究・学術団体、企業等との連携を含めた包括的な調査研究、教育普及活動に取り組んでいる。

6 今後の博物館の登録・指定について

(1) 新規の登録博物館・指定施設の申請受付と審査

令和5年4月の改正博物館法施行以降、千葉市動物公園の他に数件の施設管理者、設置（予定）者から新規登録に向けた相談を受けている。

現在、申請の準備まで進んでいる案件は無いが、申請があった場合、速やかに書面審査、実地調査、学識経験を有する者への意見聴取が実施できるよう、登録・指定手続きの整備を進める。

(2) 「みなし登録博物館」の再審査 【対象：2館 加曽利貝塚博物館・郷土博物館】

旧博物館法に基づく登録博物館は、改正博物館法の施行後、「みなし登録博物館」に位置づけられ、令和10年3月末までに再審査・登録を行う必要がある。

新規の登録・指定施設の審査を優先しつつ、両館と再審査・登録に向けた調整を進めていく。

(3) 「みなし指定施設」の確認 【対象：2館 千葉市美術館・千葉経済大学地域経済博物館】

旧博物館法に基づく博物館相当施設も、「みなし指定施設」に位置づけられ、新規則の要件を満たしていることを確認するよう努めなければならない。

両館ともに当初の「博物館相当施設」指定時には登録の要件を満たしていなかったが、法改正により登録が可能となっている。確認に向けた調整と合わせ、登録博物館の検討も依頼していく。

【博物館法】

(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 法第20条第1項[博物館法\(昭和26年法律第285号\)第23条第1項](#)の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 法第21条[博物館法第24条](#)の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例23・令和5条例11・一部改正)

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和7年1月9日～令和9年1月8日

委 員 名	現職など	専門分野
かわじり あきお 川 尻 秋生	早稲田大学文学学術院教授	日本古代史
こだま りえこ 小玉 理恵子	千葉市立都賀小学校校長	学校教育
しまだて りこ 島 立 理子	千葉県立中央博物館事業部長兼研究部長	民俗学 博物館地域連携
すずき かずひこ 鈴木 一彦	千葉大学講師	博物館学 博物館経営
ひろた なおゆき 広田 直行	日本大学生産工学部建築工学科教授	コミュニティ施設計画 公共施設再編計画

令和7年3月現在（50音順）